



坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい 夢道場・南小だより

【学校教育目標】

- やさしく (徳)
- かしく (知)
- たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和6年8月27日
第8号 文責 鈴木 博貴

2学期が始まり、南っ子たちの元気な姿とたくさんの笑顔が学校に戻ってきました！

38日間の夏休みが終わり、南っ子たちの元気な姿とたくさんの笑顔が学校に戻ってきました。登校するやいなや久しぶりの仲間たちとの再会に子供たちの笑顔も一入。2学期始業式も、どの教室もしっかりと話を聴く態度は立派でした。どの学年も温かで落ち着いた雰囲気の中で、2学期の教育活動が再開できました。今夏も子供たちが犠牲となる悲しい事故や事件が全国で報道される中、本校では事件や事故が1件も無く、こうして元気な子供たちに再会できたことを何よりも幸せに感じています。これも、ご家庭や地域の皆様が子供たちを温かく見守ってくださっているお陰です。改めて感謝申し上げます。



子供たちの健全育成ための「チーム南小」。引き続きのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【令和6年度 坂戸市立南小学校・第2学期始業の日にあたり《校長講話より》】

おはようございます。長かった夏休みも終わり、今日から2学期の始まりです。夏休み中も、健康に注意をして、様々な工夫をしながら充実した生活を送っていたことと思います。まずは、元気な皆さんに会えたことが何よりも嬉しいです。皆さんが交通事故に遭ったり、その他の事件や事故に巻き込まれたりしたなどの報告は全くありませんでした。皆さんが、掛け替えのない大切な「命」を守るため、安全のための注意をしっかりと守って生活していた証拠です。大変立派でした。南小っ子の夏休みの合言葉『かきごおり』は実行できましたか。これは夏休みだけではなく、これからも毎日行ってほしいことです。まだまだ暑い日が続きそうです。熱中症にも注意しながら、2学期も元気に過ごすために、規則正しい生活を送りましょう。



さて、暦の上では立秋も過ぎ、季節は秋になります。2学期は季節もよく、一年でもっとも過ごしやすくなっていきます。「勉強の秋」、「スポーツの秋」、「読書の秋」、「芸術の秋」、「食欲の秋」と言われるようにとてもよい時期です。皆さんの力が「ぐーんと伸びる時期」でもあります。2学期には、皆さんが楽しみにしている校外学習や校内音楽会、連合運動会、持久走大会、宿泊学習や修学旅行などの行事も予定されています。一人一人が「2学期のめあて」をしっかりと持って一杯取り組み、「こころ」と「あたま」と「からだ」を鍛え、南っ子の合言葉(=学校教育目標)『〇やさしく 〇かしく 〇たくましく』がさらに高まることを期待しています。そのために、南小が大切にしている「凡事徹底=誰にでもできることを誰にもできないくらい一生懸命に続けること」や、これまでお話してきた「己の欲せざる所、人に施すことなかれ」はもちろん、南っ子はさらに、「己の欲する所、人に施せ」、自分のしてほしいこと、されたら嬉しいことを他の人達に自ら率先して行うこと、を大切にしてください。相手の気持ちになって考え、行動できる「思いやりの心(=『恕』)」、皆さんが安全で安心して「すくすく伸びる」ために、決して「当たり前」ではないけれど「当たり前」のように支えてくださる全ての人への「感謝の気持ち」を大切に、皆で協力し合い、高め合いながら、さらに素晴らしい南小を創っていきましょう。皆さんの『努力の成果が大きく実る2学期』になることを大いに期待しています。

【青少年健全育成地区会議】『子供たちの健全育成と安心・安全のために』

7月18日(木)に青少年健全育成地区会議が千代田小学校を会場に開催されました。委員は、関係校のPTA会長や教職員、自治会長、地域交流センター長、民生委員・児童委員、人権擁護委員、保護司の方々です。子供たちの健全育成についての情報交換や活動について協議しました。会議後には、『子ども110番の家』に登録して下さっている店舗等を訪問し、ご協力をお願いをして参りました。



【児童代表の言葉『2学期も決意新たに!』】

【この思いを2学期も!】1学期終業式。本校児童代表2名(3年生・6年生)が、全校で、1学期を振り返っての頑張りや2学期に向けての決意を立派に発表しました。改めてご紹介します。

『1学期楽しかったこと』 3年 □□ □□

私が1学期頑張ったことは3つあります。/1つ目は、体育のリレーです。リレーで頑張った事は、バトンをもらうときに、少し近くにきたら少し走ってバトンをもらう事です。ずっと練習していたけど、なかなかできませんでした。そんな時に友達が、「コーナーを曲がって来たら走っていいよ。」と言ってくれました。それを意識して体育で毎回練習したら、どんどん上手になりました。これからも友達と協力して頑張りたいです。/2つ目は、算数の割り算です。最初は全然解き方がわかりませんでした。でも、毎日練習していたら、掛け算九九を使えばよいと分かり、解けるようになりました。あきらめずに何度も練習すればできるようになると信じて、2学期も頑張ります。/3つ目は、運動会です。私はチアリーダーになりました。お兄ちゃんは、赤組の団長でした。兄妹そろってお母さんたちの前に立ちました。赤組の団長のお兄ちゃんと一緒に応援合戦をしました。お兄ちゃんは、大きな声ですごく頑張っていました。なので私たちも頑張って応援をしようと思いました。青組に赤組は負けてしまったけれど、最後まで一生懸命応援できてよかったです。今年の種目は、台風の日とソーラン節と80M走です。私が特に頑張ったのはソーラン節です。初めて見たときは、「こんなの踊れるのかな」と思いました。学校での練習だけでなく、お家でも音楽を流して練習しました。段々と踊れるようになってきて、踊るのが楽しくなってきました。当日は、最初の構えから全力で堂々と丁寧に踊れました。他にも台風の日の出来事が心に残っています。3年3組は、体育の時間に皆で1位を目指して練習を頑張りました。しかし、運動会当日の結果は最下位でした。悔しい気持ちもありましたが、クラスの皆は「頑張ったからいいんだよ。」と励ましてくれました。それを聞いて私は、とても優しいクラスだと思いました。/2学期もこのクラスと仲よく協力して頑張りたいです。

『1学期、僕が頑張ったこと』 6年 □□ □□

僕は、この6年生の1学期を、どんなことでも挑戦するというめあてをもって取り組みました。その中でも、特に頑張ったことが2つあります。/1つ目は、運動会の徒競走のことです。徒競走では、同じレースで走るようになった皆が速い人ばかりになりました。それを知ったときは、全力を出さずに負けようかとも思いました。もうだめだと諦めかけていました。同じ負けるのでも全力を出さずに負けるのと、全力を出して負けるのは、全然違うのではないかと思います。最後まで力をふり絞れば、その時に何かが起こるのではないかと、レース直前まで考えていました。そして本番。僕は全力で走り切りました。そうしたら去年負けてしまった子に勝つことができ2位になることができました。諦めなければ叶うということを改めて感じることができました。このことから、僕は、物事をネガティブに考えるのではなく、ポジティブ

に考えた方が自分にとってよりよい方向や結果を出せることがわかりました。/2つ目に頑張ったことは、場に合った行動をとることです。年上の方への言葉遣いやその場に合った行動を取ることを心がけました。社会科見学では、国会議事堂という公共の場での行動や判断力が大事な場所でした。そのような場所でも、公と個人の区別をして行動できたと思います。また、日々の生活でも親しい人に対しても言葉遣いに気を付けるよう意識するようになりました。そうすることで自分自身がいい気持ちになり、さらに相手のことも大切にしようという思いが強くなりました。/僕は、1学期にこの2つのことを通して成長できたと思います。これからも何があっても諦めずにポジティブに考え、もっと細やかにその場に合った行動を取れるような人になりたいです。そして、残りの小学校生活でどんな事にも挑戦し続けて過ごしていきたいです。



【夢道場・南小『ほっとニュース』】

再開した学校保健委員会、今年のテーマは『足育』

8月23日(金)に学校保健委員会を開催。今年度も多くの保護者の皆様にご参加いただき、本校職員と一緒に子供たちの健康や体力について情報共有や学習を行いました。前半は、養護教諭や体育主任から本校児童の健康面や体力の状況の説明を、後半は、足育指導でテレビ等でも活躍されている昭島市立光華小学校の眞砂野裕校長先生をお招きし、『『足育のススメ〜今こそ、足元からの健康教育を』のテーマで講和をお聴きしました。全ての根幹となる『健康・体力』。今後も大切に教育を進めてまいります。



教職員にとっても『熱い研修の夏』でした!

子供たちにとって楽しい夏休みは、教職員にとっては様々な準備や研修を行う大切な期間。これまでの教育指導を振り返り、2学期以降の教育をさらに充実させるために、この夏も沢山の研修会を実施しました。特に、変化の激しい時代の要請もあり、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を充実し、「令和の日本型学校教育の構築」の具現化が求められている中、本校の教職員も一生懸命に研修に励みました。研修会例をいくつか挙げます。特別支援教育の充実や不登校解消のための「児童理解研修会」、「教育課程研修会」、「学力向上研修会」、「生徒指導研修会」、他にも各教科・領域等の「指導法研修会」、「小中合同研修会」等々。積極的に外部指導者も招聘し研修を行いました。さらに、外部機関や大学等に出向いて研修に励む教職員も多数見られました。本校教職員も、常に「学び続ける大切さ」を肝に銘じ、熱い夏を過ごしました。この学び(研修)の成果を、本校児童の「生き抜く力」の育成のため、今後の指導に活かしてまいります。



授業力向上研修会

南小教職員の合言葉『学び続ける者のみが教える資格あり』